

総合的な探究の時間の学習内容

1 学年

- ◆地域のひととの出会いを重視し、人の話を聞き、メモを取ることを原点として、文章を読み、文章でまとめて記事を書くという学習活動から、**コミュニケーション力では欠かせない聞く、読む、話す、書く力**を磨くこととしている。さらに、情報の収集と整理をはじめ、それらを有効に活用しながら目的に合わせて構成をデザインして、魅力ある情報を創造して表現するなどの活動から、情報活用力を高めるとともに課題を発掘する力やエビデンスを示す力、解決案を導き伝える力など、**質の高い探究学習を進めるうえで必要となる基礎力**を身につけさせることを主眼としている。
- また、学校設定科目の地域探究や宇宙探究基礎との関連性を強め、**科目を横断して探究的な学びが深まる**よう科目を編成している。

2 学年

- ◆**探究の型を深く理解**したうえで、共通する課題を持つ4人以下のチームを結成して、「串本古座地域の素材を活かして、新たな価値を創造せよ！」というミッションのもと、**プロジェクト型の探究学習にチャレンジ**することとしている。**地域社会での実験や調査、還元活動を実施**することを通して地域社会との関わりを持ち、地域の特徴やよさに気づき、課題を考察してプロジェクトを実践しながら探究的で協働的に学び、**企画力や運営力、分析力、実践力を高め、自らの道を自ら切り開く自己決定力**を育成することとしている。
- また、チームで創造した新たな価値を、探究学習に関連する**コンテストに応募**することとし、**他地域の高校生との交流の機会**を設けている。

3 学年

- ◆これまでの探究学習のミッションである「串本古座地域の素材を活かして、新たな価値を創造せよ！」を、**繰り返しブラッシュアップ**しながら**地域の中で活動し続けること**としている。その活動の中では、自ら考え、持続可能な社会を実現するために行動し、他者との望ましい関係性を構築しながらプロジェクトを実践し、**社会に貢献しようとする実践力**を育むこととしている。
- また、3年間の総合的な探究の時間における学びを論文の執筆やプレゼンテーションにおいて総括するとともに、これまでの探究学習活動を振り返り、**自己の在り方や生き方を考察し、未来の目標の創造に繋げる**こととしている。

総合的な探究の時間の3 年計画（1 単位×3 年間）

		1 年												2 年												3 年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学 習 活 動	オリエンテーション	探究の基礎・基本を学ぶ												プロジェクト①						プロジェクト②						探究の結び											
		●夢を描く		●教師の人物に迫る		●新聞づくり		●自分理解		●職業理解		●地域課題発掘		●描いた夢を紹介せよ！ ① スライド ② 動画		ミッション：地域の素材を活用して、新たな価値を創造せよ！						コンテスト応募						●論文を書く		●発表資料の制作		探究学習の総括					
具 体 的 学 習 内 容		●自分を見つめる ●未来を見つめる ●探究を知る												●探究の型を活用する ●力を合わせて協働的に取り組む ●仲間と共に活動する ●新たな価値を創造する						●活動をブラッシュアップし、新たな活動を実行する ●社会づくりに参画する・地域に貢献する ●地域で活動する						●探究を振り返り、論理的に表現する ●自己の在り方・生き方を考える ●学びを生活に活かす											
		●「聞く・読む・話す・書く・メモを取る・調べる」を高める ●情報の収集方法や調査方法、検証方法を知る ●問いを立てる・課題をつくる・根拠を探す・答えを見つける												●課題を見つける・情報を集める・情報を整理分析する ●仮説を立てる・解決策を見つける・解決策を実行する						●活動を評価する・活動を改善する ●活動を計画する・活動を実行する ●評価と改善を繰り返す						●論文にまとめる											

地域探究・宇宙探究基礎との連携（2 単位×1 年間）

		1 年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域探究		●専門家に触れる×3					●ミニ探究×3				探究課題の設定		
		地域の現状や課題、成功事例に触れる					地域の身近な題材で、ミニ探究をやってみる						
宇宙探究基礎		●宇宙飛行士選抜試験					●宇宙ST実験				探究課題の設定		
		●水ロケット製作					●望遠鏡・天体写真撮影						
	科学的な視点に立ち、実験や調査を体験する												

プロジェクト①の始動

●地域の人に触れる ●ロールモデルを見つける ●実験や調査の方法を知る

●多様な意見に傾聴する ●地域の良さに気づく

探究学習のアプローチ（謎解明型？課題解決型？）

- ① **興味や関心を持つ**・・・身近な生活のことや地域のこと、好きなことなどから熱中できることを見つける
- ② **疑問や課題を抱く**・・・熱中できることのうち、それに関連するキーワードを探しだす
- ③ **問いに変える**・・・キーワードに問いを投げかけて、質問文を作る（なぜ、ほんとうに、どうして。。。）
- ④ **探究課題を立てる**・・・漠然とした質問文に磨きをかけて焦点をしぼり、具体的な探究課題へと発展させる
- ⑤ **仮説を立てる**・・・発展させた探究課題に対する、現時点での答え（解決策）を予測（見込み）する
- ⑥ **検証・立証する**・・・予測をもとに、**プロジェクト活動（実験や調査）**を実施して、仮説を証明する根拠を見つける
- ⑦ **答えを導きだす**・・・プロジェクト活動の結果を考察して、探究課題に対する答え（解決策）を導きだす

決して、机上の空論では終わらせない！

まず、やってみる！
やりながら考える！

順序にこだわる必要はないが、型は理解しておく必要はある。

論文の構成（個人の活動）

1・序 論	⇒	2・本 論	⇒	3・結 論
○課題（＝問い）		○理由と根拠		○課題に対する答え
○課題の説明		（検証方法の提示）		○探究の精度の分析
○課題設定の理由		（検証結果の提示）		○探究を終えて見えた新たな課題
○課題を取り巻く背景		（検証結果の考察）		

アウトプットの機会の充実

1 年間で3 回程度、探究学習の節目となる時に学年単位での発表会を実施する。また、一人ひとりが取り組む探究学習の概要や課題、成果、解決案などを発表し合い、**一人のアイデアが仲間を刺激し、新たなアイデアが創出される**というサイクルの創造を期待して**協働的に学び合える機会**として、全学年が揃う**探究中間発表会**を実施する。